

2022年7月××日
株式会社デファクトスタンダード

円安は中古ブランド品の売り時！ ブランディア、円安による海外販売と国内買取動向を発表 「ルイ・ヴィトン」の購入数が1.2倍に、「シャネル」の購入単価が1.16倍に伸長

BEENOS 株式会社(東証プライム 3328)の連結子会社で、株式会社デファクトスタンダード(本社：東京都大田区、代表取締役社長：仙頭健一、以下「デファクトスタンダード」)が運営するブランド品買取「ブランディア」は、歴史的な円安の状況を受け、2022年3月11日を起点とした前後一か月(注1)の海外販売動向の変化と、今が売り時のブランド品について発表いたします。

円安は中古ブランド品の売り時！

ブランディア 円安による海外販売と 国内買取動向を発表

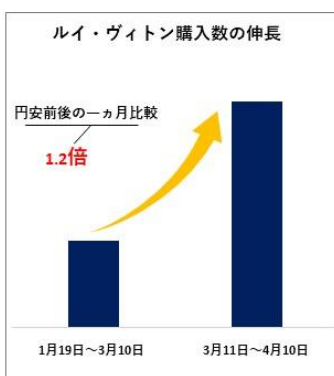


◆円安によるブランディアの海外販売動向

ブランディアでは、2020年より海外販売を強化し高需要地域での販売によってお客様への買取金額に還元させる体制の構築を推進しています。海外販売比率は2022年3月時点で29.3%と、前年同期比で約3倍に伸長しています。

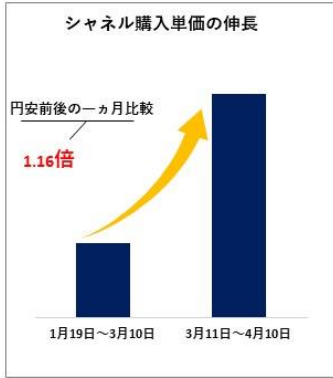
日本で使用されたブランド品アイテムは、品質の高さや真贋への信頼性によって、海外から高い需要を得ています。円相場が一時、1ドル=116円80銭台を付け、およそ5年2か月ぶりの円安水準となった2022年3月11日より歴史的な円安傾向が続いていますが、海外のお客様にとっては割安となり日本発の中古ブランド品を購入しやすい状況となっています。

そこで、ブランディアの海外販売データから、3月11日を起点とした前後一か月において、どのような変化があったのかを発表いたします。



○円安前後で最も購入が伸びたのはルイ・ヴィトンで1.2倍に

円安の前後ではルイ・ヴィトンが最も購入数が伸長し、1.2倍の伸びとなりました。ルイ・ヴィトンは特に欧米圏で圧倒的な人気を誇っており、その人気も反映された結果だと考えられます。



○購入単価はシャネルが伸長、1.16 倍に

円安の前後でブランド別の購入単価を比較すると、シャネルが 1.16 倍の伸びとなりました。また、ルイ・ヴィトンも 1 割ほど購入単価が伸長しています。

これからのブランドは、安定した人気とともに、近年価格改定による商品価格の上昇が続いているため、質の良いリユースの需要が高まっていると予想されます。

◆ご自宅に眠るブランド品、円安前の 1.5~2 倍の買取も！今が売り時

円安の状況を受け、特に普遍的な人気ブランドやアイテムは買取価格も上昇しています。状態やデザインにもよりますが、アイテムによっては買取価格が約 1.5~2 倍に上昇しています。

例えば、定番人気のシャネルのマトラッセ ショルダーバッグでは今年 2 月に 450,000 円ほどだった買取価格が、668,000 円まで上昇した実績も。

ルイ・ヴィトンでも、定番人気のダミエ柄の長財布が、2 月時点で 7500 円の買取が 15,000 円にアップした実績があります。(注 2)

使わなくなったブランド品の売り時を迷っている方は、この機会にぜひお買取をご利用ください。

※査定額アップ例は現時点での実績価格です。査定の時期や商品状態によって価格変更の可能性があることをあらかじめご了承ください。

【シャネルの査定額アップ例】



マトラッセ ショルダーバッグ
A01112
キャビアスキン
チェーンショルダー/シルバー金具

450,000円
(2022年2月)



668,000円
218,000円アップ ↑



マトラッセ ショルダーバッグ
A03570
ラムスキン
チェーンショルダー/ゴールド金具/プッシュ
ロック

140,000円
(2022年2月)



230,000円
90,000円アップ ↑



エグゼクティブライン トートバッグ
A15206
グレインカーフレザー
シルバー金具

100,000円
(2022年2月)



160,000円
60,000円アップ ↑



復刻トート トートバッグ
A01804
キャビアスキン
ゴールド金具

42,000円
(2022年2月)



96,000円
54,000円アップ ↑

【ルイ・ヴィトンの査定額アップ例】



キーホール・バンドリエール50
M41416
ポストンバッグ
モノグラム・キャンパス

17,000円
(2021年10月)



45,000円
28,000円アップ ↑



パティニョールオリゾンタル
M51154
ショルダーバッグ
モノグラム・キャンパス

13,000円
(2021年10月)



40,000円
27,000円アップ ↑



ポルトフォイユ・サラNM2
N61734
長財布
ダミエ・キャンパス

7,500円
(2021年10月)



15,000円
7,500円アップ ↑



コンピエーニュ28
M51845
セカンドバッグ
モノグラム・キャンパス

3,500円
(2021年10月)



11,000円
7,500円アップ ↑

◆買取金額アップにつながるポイント

○高価買取が期待できるのは、バッグや時計

バッグや時計の中でも定番人気のものは流行に左右されにくく、状態がよければ購入から時間がたっても高値買取が期待できます。一方、アパレル品はデザインの流行の影響も受けやすく、購入時と比べ、買取金額が低くなってしまいう可能性があります。

○自己修理はNG。買取できない場合も

靴やバッグのスレなどをご自身で塗装する、古くなったチャームを取り換える等の修理をされる方もいらっしゃいますが、商品価値を下げることに繋がってしまいます。

○ポケットの中のゴミや乾拭きしてきれいになる表面の汚れは落とす

高価なクリーニング等は必要ありませんが、ポケットの中に残っているゴミなどは取り除く、軽くふいて落ちるような汚れは落とすなど、全体としてキレイな状態にしておくほうが良いでしょう。

○ギャランティ(保証書)の有無は査定の重要ポイント

購入時にギャランティやシリアルナンバーカードがついているアイテムは、その有無が査定額に影響します。また、保存袋や付属品がそろっているかどうか、査定の金額に影響します。

【ブランド品買取「ブランディア」概要】

ブランド品買取「ブランディア」は、宅配、店舗、オンラインの買取に対応しております。

宅配買取「ブランディア」

URL : <https://brandear.jp/>

買取専門店「ブランディア」

URL : <https://brandear.jp/shop>

オンライン買取「ブランディア Bell」

URL : <https://brandear.jp/bell>

サービス利用料：無料

対象エリア：全国

対象ジャンル：バッグ、時計、アクセサリ、アパレルなど

※地金等の査定を希望の場合は、店舗、宅配をご利用ください。

※年中無休(年末年始を除く)

※営業時間は買取方法によって異なります。詳しくは各サービスページをご覧ください。

注1：2022年1月19日～3月10日、2022年3月11日～4月30日の期間で比較

注2：同一型番、同一コンディションで比較した場合

◆株式会社デファクトスタンダードの特徴

ブランド品宅配買取サービス「Brandear（ブランディア <https://brandear.jp/>）」は、不要になったブランド品を「ダンボールに詰めて送るだけ」で査定・買取を行うサービスです。インターネットからお申し込みいただくと届く宅配キットにお品物を詰めて送るだけの手軽さ、買取対象が約7,000ブランドという幅広さ、査定結果に納得がいけない場合には、無償でお品物を返却する安心感から、これまでに述べ300万人以上の方にご利用いただき、リコマースにおけるオンラインマーケットを拡大してきました。

また、店頭で買取を行う専門店「ブランディア（<https://brandear.jp/shop>）」、オンライン買取「ブランディア Bell（<https://brandear.jp/bell>）」など買取の間口を広げ、オンライン、オフライン双方の利点を活かし、常にお客様の安心と利便性の向上を目指しています。さらに国内だけでなくグローバルリコマースにおけるマーケットを積極的に開拓し、国内外で求められるアイテムをお客様に直接、適正な価格で世界で販売することにより、買取価格の向上に努めています。ブランディアは、価値ある品物を次に繋いでいく「バリューサイクル」な社会の実現を目指します。

■株式会社デファクトスタンダードの概要

- (1) 社名：株式会社デファクトスタンダード
- (2) 代表者：代表取締役社長 仙頭健一
- (3) 本店所在地：東京都大田区平和島3-3-8 山九平和島ロジスティクスセンター 5F
- (4) 設立年月：2004年4月27日
- (5) 資本金：100百万円※BEENOS株式会社（東証一部：3328）の連結子会社です。